

## 7分野9件の 好事例を共有

オリコンサルがBIM  
／CIM 成果発表会

オリエンタルコンサルタンは5日、「BIM／CIM 成果発表会」を開いた。BIM／CIMとこれに関連したDX（デジタルトランスフォーメーション）技術を活用してより高い付加価値を提供している業務成果事例を共有。これから取り組む業務成果に生かすとともに、BIM／CIMを活用している技術者を見える化し、人的ネットワークの活用促進につなげることが狙い。同社とグループ会社の役員約310人が参加した。

この日は同社が直近1年で実施した約140件のBIM／CIM活用業務の中から、構造、道路、地下構造、施設設備、河川、砂防、港湾の7分野・9件が発表された。

講評した野崎秀則社長は

「調査・設計、施工、維持管理の各プロセス単体での取り組みから、事業全体を通じたBIM／CIMの活用へと発展させ、より高い付加価値を提供していく必要がある。そのために発表会を通じた事例の水平展開を継続するとともに、人材育成にも引き続き注力する」とした上で、「本発表会でBIM／CIM技術の高度活用が進んでいることが確認できた。今後の技術開発にも大いに期待したい」と語った。

今回の発表テーマは次のとおり。  
▽BIM／CIMモデルを用いた橋梁概算工事費の自動算出▽橋梁工事での出来形管理▽VR（仮想現実）を用いた鉄筋組立検査へのBIM／CIM適用▽道路事業

の事業監理を実現する広域モデル（GIS）とBIM／CIMの連携▽トンネル発破騒音のシミュレーションとBIM／CIMモデルの連携▽発注者協議でBIM／CIMモデルを遠隔操作しリアルタイムでCCTV 配置検討を行った事例▽築堤工事における工事用車両による洪滞予測シミュレーションとBIM／CIMモデルの連携▽砂防施設に対する3次元管内図の構築▽空港拡張工事に対する制限表面に抵触しない施工計画の立案事例。